

知事
ターンメッセージ

島根県知事 丸山 達也



島根県は、中国地方のスコ世界ジオパークに名るとともに、家族と過ごすところです。北部にあり、東は鳥取県、西は山口県、南は中国山地をへだてて広島県に接し、北は日本海に臨む、東西の距離が約230キロに及ぶ細長い県です。国宝・松江城や縁結びの出雲大社(いずもおおやしろ)、日本遺産のたたら製鉄など多くの史跡

しまねで「いきいき」と働こう!

〜人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根の実現に向けて〜

などが現存する出雲地域、世界遺産の石見銀山や勇壮な石見神楽などの文化が現在まで受け継がれている石見地域、ユネ

島根県では仕事と子育ての両立支援や女性が活躍できる職場環境づくりの取組を進めています。更に通勤時間の短縮、帰宅時間の早さ、犯罪の少ない環境づくりに積極的に取り組んでいます。また、県の魅力を伝え、Uターンを促進するため、県内での企業交流会や就労活動に対する交通費等の支援など積極的な取組を進めています。

【ふるさと島根定住財団】<https://www.teiju.or.jp/>
【ジョブカフェしまね】<https://www.gogo-jobcafe-shimane.jp/>

集団模擬面接に挑む学生たち



本番さながら模擬面接

対策セミナーに104人

就職活動を目前に控えた3年次生向けに「面接対策・攻略セミナー」が11月30日と12月1日の2日間、生田キャンパスで開催された。104人が参加し、企業の人事担当者や本番さながらの模擬面接を行った。

三十余年の伝統を持つ就職活動研究会を、学生からの要望を踏まえ今年度からリニューアル。プログラム内容はそのままに、2日間の通学型にして開催した。初日は履歴書の書き方をチェックしたほか、学生同士の模擬面接で翌日のプログラム

60分間の面接の後、講師から個別に講評があり、「自分が主張したいところが面接官に伝わるように表現力を身につけて」「履歴書と面接で話すことが違わないほうがいい」「面接室への入り方、あいさつの仕方、座り方、カバンを置く位置など、細かな指摘もあった。」

神谷総一朗さん(経済)

税理士の仕事と魅力

就活スタートアップ講座の一つ「意外と知らない税理士の仕事」現役税理士が語るその魅力と未来。11月5日、生田キャンパスで開かれた。専修大学会計



吉田さん(左)と榎本さん

就職支援講座(12月~1月実施)

日時	場所	講座名
12月16日 月 16:35~	神田202教室	就活基礎講座 人事が読みたくなる履歴書(志望動機)
12月17日 火 14:50~	生田10201教室	文章力養成講座 STEP 2
12月18日 水 16:35~	神田205教室	面接のイロハ
12月19日 木	16:35~	BtoB企業トークライブ~知られざる「優良企業」に出会おう!
	16:35~	鉄道業界キャリア支援セミナー(全学年対象)
1月8日 水 16:35~	神田205教室	文章力養成講座 STEP 1
1月9日 木 16:35~	生田※	鉄道業界キャリア支援セミナー(全学年対象)
1月10日 金 16:35~	神田205教室	文章力養成講座 STEP 2
1月11日 土 午後(予定)	神田※	現役採用担当者による模擬面接セミナー(要申し込み)
1月14日 火	14:50~	グループディスカッション体感セミナー(要申し込み)
	16:35~	文章力養成講座 STEP 1
1月15日 水 16:35~	生田※	文章力養成講座 STEP 2
1月18日 土	神田	面接対策・攻略セミナー(要申し込み)
1月19日 日		
1月25日 土 13:15~	生田※	学内OB・OG相談会

※時間や教室が未定の場合は決まり次第、ポータルやS-netでお知らせします
※講座名が同じものはすべて同一内容です(面接対策・攻略セミナーを除く)

就職課から

「4年次生へ」就職活動継続中の皆さん、就職課を利用したことはありますか? 就職課には、経験豊富な職員に加え、専門的なアドバイスをくれる相談カウンセラーも常駐しており、皆さんをバックアップしています。また、「専修大学生を採りたい」として、11月だけでも100社以上の新卒採用で担当者が来校

母親の下で修業し資格を得ていく時代。それに応じ、税法だけでなく、いろいろなことを吸収することが必要だ」と力説した。最後に吉田さんは「地味な仕事だと敬遠する人も多いが、やりがい、可能性のある仕事。試験は難しいがぜひ目指してほしい」と呼び掛けた。

「3年次生へ」年が明け、1月の定期試験が終わると、皆さんは企業へのエントリーに向けての準備を加速させることになるでしょう。また先の方で、意外と時間はあ

外国語の又又又
外国語教育研究室
- 79 - 英語
Rebecca Tompkins
トンプキンス, レベッカ. 商学部講師

Culture Shock and Study Abroad

Culture shock is a feeling of stress and discomfort that is typically experienced by people living in a new cultural environment. Living in a new place feels fun at first, but after a while the effort required to adapt to different languages and customs may start to feel stressful. Many people also experience homesickness, an intense feeling of wanting to be back home, together with culture shock. A small amount of culture shock is a normal part of the study abroad experience, but it is best to prepare yourself in advance to avoid these unpleasant feelings while you are living in another country.

Before studying abroad, make sure to learn as much of the language and culture of the host country as possible. Talk to older students or alumnae who have studied abroad in that country, and carefully read any information you receive about studying abroad from the university. If possible, try to go abroad together with a friend, and do your best to make friends with both foreign and native students in the host country.

If you start feeling lonely, reach out to a friend or family member back home and arrange to talk on the phone or video chat once a week. Study abroad can be challenging, but with the right preparation, mindset, and social support, you can have the time of your life!

短縮版。全文はCALL教室ホームページで。